

180トン型巡視船「きりしま」

JAPAN COAST GUARD Patrol Vessel Small



艦船事業本部

横浜事業所



図1 ウォータージェットユニット

1. はじめに

本船は、本邦周辺海域の警備救難業務に従事する巡視船で、令和4年12月に竣工した。

本船の主な特徴を紹介する。

2. 本船の特徴

2.1 性能

船型は、耐航性、凌波性及び操縦性を考慮した角型である。主機は軽量、大出力の高速ディーゼル機関を使用し、推進器は高速、高機動性に対応するためウォータージェット推進装置（以下 WJ）を採用している。

2.2 船体部

高速性能を確保するため、軽量化に努めた。また、他船への接舷用防舷材を装備している。

疫病患者輸送が可能なように、「隔離区画」を設け、専用トイレ、独立の空調装置、監視カメラ等を装備し、扉を水・気密にして、ウィルス等の他区画への漏出を考慮している。

2.3 機関部

操縦は、操舵室で行う遠隔操縦方式とし、操舵室両舷に WJ のジョイスティックを装備し、離着岸時の便宜性をはかっている。

WJ は、本体と WJ ダクトのユニット型（図1参照）を採用した。取付けは、船底・船尾の一部を切欠き、WJ ユニットでの取付けとなり、高い工作精度が要求される。

2.4 電気部

本船は、発電装置 2 台を補機室に装備し、主配電盤には、一般的な自動制御の他に、自己診断制御による発電機切換など、自動化をはかっている。

非常用電源として、非常用蓄電池を装備し、発電機が損傷した際でも船舶に必要な電力が供給可能なシステムとしている。

また、全周囲監視が可能なカメラ装置を装備し、海上監視・探証機能を向上させている。

3. おわりに

当社の高速巡視船艇は、100 隻近い建造実績があり、各方面から高い評価を得られている。

最後に本船の建造において多大なご指導・ご支援を賜りました海上保安庁殿をはじめ、関係官庁殿、メーカーの皆様には厚くお礼を申し上げますとともに、本船が性能を十分発揮し、活躍し続けることを祈願する。

表1「180トン型巡視船」主要目

Table 1 Principal particulars

全長	46.00 m
最大幅	7.50 m
総トン数	195
主機関形式	ディーゼル機関 2 基
推進器	ウォータージェット 2 基